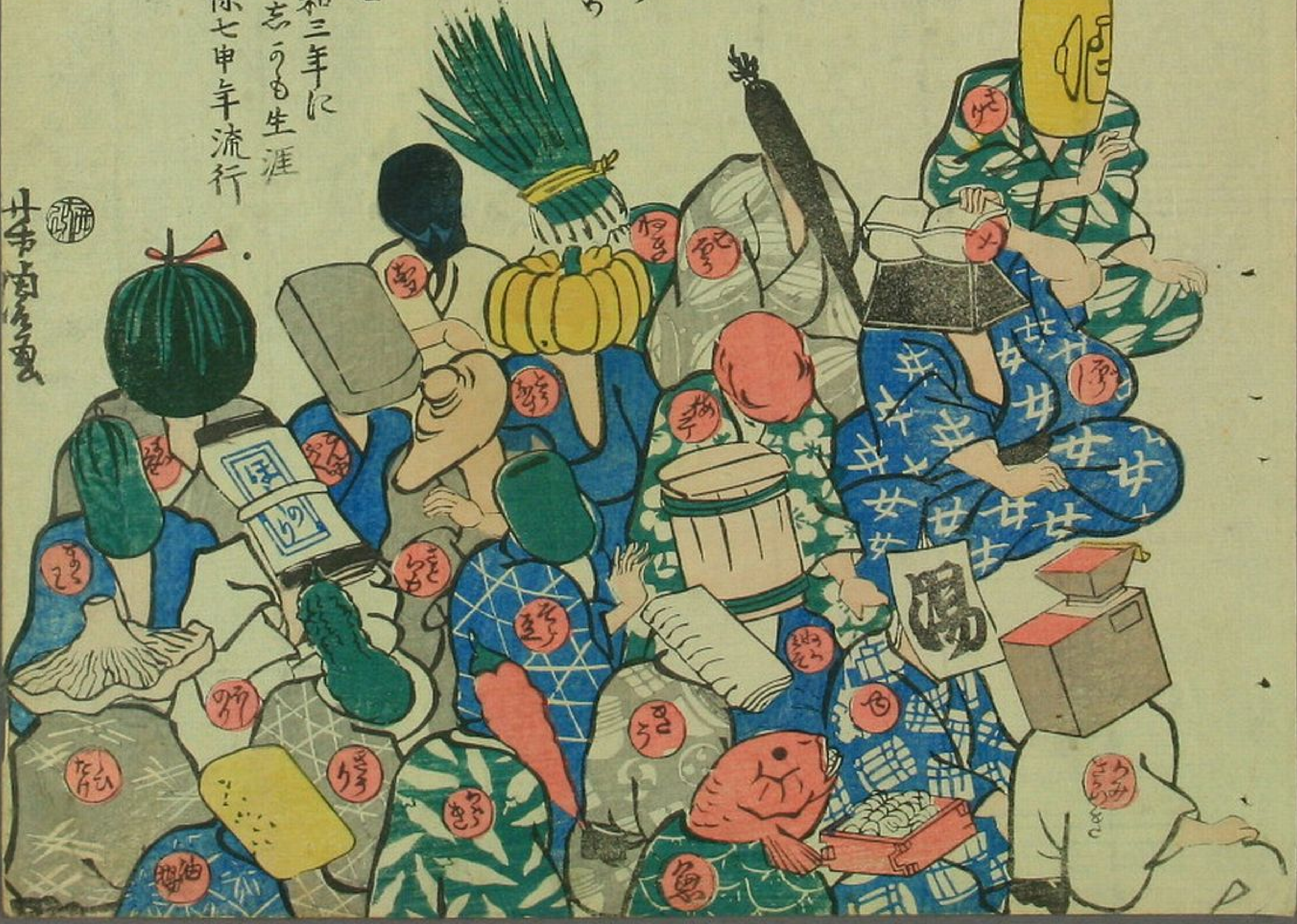
麻疹禁忌荒増し

一生魚一切 諸く鱗なき魚ハ猶さら也 一鳥獣の肉一切 一里いもを
菜 一酒 一餅菓子 一胡瓜 一麪類 一油揚 一牛房
ねぎ 一酢并一切の酸物 一菓物一切 但し蜜柑ハ少しハよし 一砂糖かハ宜し
一切臭きある野菜 一あすび 一すいかん 一辛物 一塩からき物
當座漬香物 一きうり
一切不浄の物ニ觸へからず 總てあしき臭かぐへからず
以上食物數品ありて 凌ぎ五十日或ハ七十五日重きハ百日忌へし
男女交合ハ必ず百日慎しむべし

日本書記に曰く敏達天皇四十年此症ありしより
上ハ百官下万民に至まで死傷多しと云 或書に疱瘡ハ聖武天皇
天平七年はじめて流行し麻疹ハ同九年にはじめてはやりそのゝち
桓武帝延暦九年まで其間五十四年めにして流行し又二百十九年め
長徳四年に流行せしより四百七十四年めにあたり文明三年に流行せし
年數遥遠なれバ さだめて其内にも麻疹ありつらめど病る人
多く有べし 文明より三十七年め永正四年にまたおこりしそのゝち
百四十四年め慶安三年にはやりまた四十二年めのちまた流行し是
元禄三年より又四十年め享保十五年めにはやり 二十四年の後宝暦
三年流行また二十年め安永五年おこるなどそのゝち二十八年め享和三年に
はやり凡天平より享和まで一千七十六年の間数度の流行にして志るも生涯
一度病て二度病ざるなれハ一ツの異なり享和より二十二年め天保七申年流行
夫より廿七年目にて當戌年海内に流行せり

芳虎画